

光学系設計技術部会 講演要旨

開催日：2016年3月16日（水） <2015-4 ②>

テーマ：アラウンドビューモニターとその画像処理

講演者：下村倫子氏（日産自動車株式会社 総合研究所 モビリティ・サービス研究所 主任研究員）

車載カメラの用途は大きく分けて二つある。一つはカメラ映像を認識し運転支援に役立てる使い方、もう一つは映像を表示し運転手の視覚支援としての活用である。車載カメラは、安価で小型のカメラの普及に伴い、多くの車に複数のカメラが車載されることが当たり前になってきた。また、カメラの高解像度化やマイコンの性能向上も相まって処理の工夫で1台のカメラを複数用途に使うことも可能になってきた。

ここでは、これらさまざまな用途における車載カメラを利用した認識技術や映像処理技術について、日産自動車の商品である「アラウンドビューモニター」を例にとり、その内部で行っている画像処理と車載システムにおいて重要視するポイントについて解説した。また、アラウンドモニター用に搭載したカメラを他の視覚支援システムや運転支援用の検出として活用する事例についても紹介した。